

2025/07/11 (予定) **機能追加**

## 健康保険・厚生年金保険 被保険者資格取得届の種別の出力を改善 他 1 件

Ver.250630

### 手続き

労務管理電子化

#### 健康保険・厚生年金保険 被保険者資格取得届の種別の出力を改善

給与奉行

『給与奉行クラウド』の[\[厚生年金保険区分\]メニュー](#)の「基本」ページで設定する「代行返上・解散による種別出力方法」に応じて、健康保険・厚生年金保険 被保険者資格取得届の種別が出力されるようになりました。

#### 補足

「代行返上・解散による種別出力方法」は、基金加入区分が「加入」の場合に表示されます。

#### 対応メニュー

- [労務手続 - 手続開始 - 入社] メニュー
- [労務手続 - 手続開始 - 定年後再雇用] メニュー
- [労務手続 - 手続開始 - 正社員登用] メニュー

### 社員管理

#### 社員から『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者を自動作成する機能を強化（『HR DX Suite モデル2』をご利用の場合）

当サービスの社員から、『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者を自動で作成する機能（自動連携機能）を強化しました。自動連携する設定になっている場合は、以下の内容をご確認ください。

#### 補足

自動連携する設定とは、[\[年末調整申告書クラウド\]メニュー](#)の連携方法で以下を選択している場合です。詳細は、ヘルプセンターの[「社員と『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者の連携について」](#)をご参照ください。

- 「OBC i Dの設定内容に従う」（ご利用の製品によって表示されません。）
- 「社用e-Mail1を利用者IDとする」
- 「社員番号を利用者IDとする」

今まで社員が退職した際は、[\[社員情報\]メニュー](#)で在籍区分を「2：退職」にした後に、[\[年末調整申告書クラウド利用者設定\]メニュー](#)で『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用を手動で「無効」にする必要がありました。今回から、[\[社員情報\]メニュー](#)で在籍区分を「2：退職」にするだけで、自動的に「無効」になります。

これにより、忘れずに退職社員の『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用を停止でき、誤って提出依頼通知などを送ることを防げます。

また、今まで扶養親族を追加した際に続柄が未設定の場合は、『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の[\[利用者情報登録\]メニュー](#)に自動で登録されませんでした。今回から、続柄が未設定でも登録されるようになりました。

## 対応メニュー

[社員管理 - 社員情報 - 年末調整申告書クラウド - 年末調整申告書クラウド利用者設定] メニュー  
『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の [導入処理 - 利用者情報登録] メニュー

---

## その他

### セキュリティ強化

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。